

執筆項目一覧

【執筆方法】 以下「執筆項目」ごとに、「執筆内容」をすべて網羅したうえで、
1. 具体的な状況・背景、2. 現在までの対処状況、3. 今後の対処方法・議題
 の3項目について自己点検・評価し、記述する。
 ※原則として、学科・専攻単位で記述する（項目により学部・研究科単位でも可）。

【注】 執筆項目2、3、5で記述されている、各学部・学科、研究科・専攻の
 アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは、
 修正等がなされ、公表されているものと異なる場合がある。

| 執筆項目 NO | 執筆項目 | 執筆内容 NO | 執筆内容 | 対象部局 |
|------------|--|------------|--|----------------------------|
| 1 | 教育目標等の 具体的な表現 による明示 | 1-1 | 学部・研究科の教育目標を記述してください。 | 学部・学科 研究科・専攻 青スタ教育機構 |
| | | 1-2 | 1-1「学部・研究科の教育目標」が、青山学院教育方針やスクールモットー、大学の理念と、関連性や整合性があることを具体的に記述してください。 | |
| | | 1-3 | 学部・研究科内に複数学科・専攻が存在する場合、学科・専攻の教育目標を、学部・研究科全体の教育目標と関連性や整合性があることをふまえて記述してください。 | |
| | | 1-4 | 学科・専攻において、どのような人材を育成しようとしていますか（抽象的な表現ではなく、受験生がより具体的に理解できるような表現であることが求められています）。 | |
| 2 | 「受入れ方針 ＝アドミッ ション・ポリ シー」に基づ く入学試験の 実施・運用 | 2-1 | 学科・専攻の「受入れ方針＝アドミッション・ポリシー」を記述してください。 | 学科 専攻（専門職除く） |
| | | 2-2 | 入試科目の種別・内容などが、設定した「受入れ方針＝アドミッション・ポリシー」に基づいて適切に運用されているか記述してください。 | |
| | | 2-3 | 現在、学科・専攻では、多様な入試形態・入試種別が導入され、入学定員等も設定されていますが、どのような組織体制・方法で検証しているか記述してください。 | |
| 3 | 「学位授与の 方針＝ディプロ マ・ポリ シー」に基づ く学位授与と 質保証 | 3-1 | 学科・専攻で設定する「学位授与の方針＝ディプロマ・ポリシー」を記述してください。 | 学科 専攻（専門職除く） |
| | | 3-2 | 学科・専攻では、学生の学習達成度を的確に把握・測定し、客観的に卒業生の質保証を確保した卒業認定を行うために、どのような仕組みや制度によってこれらを達成していますか。 | |
| 4 | 学位授与基準 や審査基準の 具体的な表現に よる明文化と 公表 | 4-1 | 専攻の学位授与基準について、具体的に設定・記述してください。 | 専攻 |
| | | 4-2 | 学位授与のための手続き（審査の手順等）を記述し、審査が適正に行われていることを示してください。 | |
| 5 | 「教育課程編 成・実施の方 針＝カリキュ ラム・ポリ シー」に基づ く具体的なカリ キュラム構 成 | 5-1 | 学科・専攻の教育目標に従い、各学科・専攻で配置している授業科目の「教育課程編成・実施の方針＝カリキュラム・ポリシー」について記述してください。 | 学科 専攻 青スタ教育機構 |
| | | 5-2 | 学科・専攻のカリキュラムで学ぶことによって、どのような学習成果（ラーニング・アウトカム）が期待できるのか、何ができるようになるのか、より具体的に記述してください。 | |
| | | 5-3 | 1-3「学科・専攻の教育目標」（または1-1「学部・研究科の教育目標」）と5-1「教育課程編成・実施の方針＝カリキュラム・ポリシー」を実現するため、教育課程や教育内容はどのように整備されていますか（専門科目、青山スタンダード科目、外国語、情報教育などのカリキュラム上の連続性、バランスなど）。 | |
| | | 5-4 | 学士課程と研究科課程とでは、具体的にどのような連携をとっていますか。 | |

| 執筆項目 NO | 執筆項目 | 執筆内容 NO | 執筆内容 | 対象部局 |
|------------|--------------------------|------------|---|--------------------------------|
| 6 | 適切な履修指導の実施 | 6-1 | 具体的にどのような体制やスケジュールにより、学生への学習指導・研究指導を行っていますか。また、それは適切なものとなっていますか。 | 学科 専攻 青スタ教育機構 |
| | | 6-2 | 履修指導や履修相談だけでは対応不能な学習習得の遅れに対しても支援することが必要ですが、どのような支援（例：補習・補完授業など）を行っていますか。 | |
| 7 | 入学前・入学時における入学生に対する教育への配慮 | 7-1 | 学科における、入学者の学力や学習意欲のばらつき的现状について記述してください。 | 学科 全学FD委員会 |
| | | 7-2 | 入学前や入学時の段階で、入学手続き者に必要な教育への配慮について、どのような検討を行い、具体的にどのような対応を行っていますか。 | |
| 8 | 初年次教育の方針や取り組み内容 | 8-1 | 学科での初年次教育のあり方について、どのような検討がなされていますか。 | 学科 青スタ教育機構 全学FD委員会 |
| | | 8-2 | 具体的にどのようなプログラムなどで対応していますか。 | |
| 9 | 授与する単位の 実質化への 方策 | 9-1 | 単位計算の基準や、単位を付与するためには授業時間以外の自学習時間を課す必要があることを理解して教員は授業を行うこと（＝単位の実質化）が望まれますが、現在、各授業担当教員はそれを認識して授業運営を行っていますか。 | 学科 青スタ教育機構 |
| | | 9-2 | 学生の授業時間以外の自学習時間等の実態をどのように把握していますか。 | |
| | | 9-3 | 単位を実質化して授与するために、教育方法の点検・見直しなど、組織的にどのような取り組みが必要と考えていますか。 | |
| 10 | 授業評価アンケート結果の組織的な活用 | 10-1 | アンケート結果が、具体的にどのような形で学生や教員間で共有され、組織的にどのように検証されて、授業改善にどのように効果を表していますか。 | 学科 専攻 青スタ教育機構 全学FD委員会 |
| 11 | 義務化されているFD活動への具体的な取り組み | 11-1 | 学科・専攻において、実施を義務付けられているファカルティ・ディベロップメントを、どのような組織やメンバー構成で取り組んでいますか。 | 学科 専攻 青スタ教育機構 全学FD委員会 |
| | | 11-2 | その取り組み内容にはどのようなものがあり、どのような形（例：刊行物など）で構成員に共有され、具体的にどのような成果を上げていますか。 | |
| | | 11-3 | 今後の課題や問題点はどのようなものか記述してください。 | |
| 12 | シラバスの掲載内容の充実 | 12-1 | シラバスの作成以前に、関連する分野の授業担当者間（対非常勤を含む）で、どのような連携をとって授業内容の確認を行っていますか。 | 学科 専攻 青スタ教育機構 全学FD委員会 |
| | | 12-2 | 学科・専攻内で、非常勤講師も含めたシラバス記載の徹底について、どのような取り組みを行っていますか。 | |
| | | 12-3 | 授与単位の実質化を達成するため、事前・事後学習を具体的に示すなど、必要な学修時間を確保するために、具体的な記載を心がけていますか。 | |
| 13 | 教員の教育業績に対する取り扱い | 13-1 | 学科・専攻での教育活動において、教員の教育評価を実施していますか。 | 学科 専攻（専門職のみ） |
| | | 13-2 | 実施している場合には、どのような形で行っていますか。 | |
| | | 13-3 | 今後は教育評価を、どのような形で取り入れるべきであると考えられますか。 | |

| 執筆項目 NO | 執筆項目 | 執筆内容 NO | 執筆内容 | 対象部局 |
|------------|----------------------|------------|---|----------------------|
| 14 | 成績評価基準の厳格化・統一化 | 14-1 | 学科・専攻では、成績評価の客観性及び厳格性を確保するために、事前に学生に対して、授業科目ごとの具体的な成績評価基準をどのように周知していますか。 | 学科 専攻 青スタ教育機構 |
| | | 14-2 | 同一科目名称に複数の担当教員が配置される場合、教員間の授業内容やレベル、成績評価基準の統一をどのように統一していますか。 | |
| | | 14-3 | GPA制度の導入にあたり、学部内開講科目の成績評価基準の統一について、どのような取り扱いを行っていますか。 | |
| 15 | 学生個人ごとの学習履歴や学習成果の把握 | 15-1 | 学生個人を単位とする学習履歴や達成度などの記録や学習指導のための資料を、どのような形で管理していますか。 | 学科 |
| | | 15-2 | クラスアドバイザー制度などの導入を含め、学生個人への学習指導について、どのような取り組みを行っていますか。 | |
| 16 | 学科・専攻の目指す国際化と取り組みの現状 | 16-1 | 学科・専攻の教育・研究における国際化の考え方を記述してください。 | 学科 専攻 国際交流センター |
| | | 16-2 | 現在の取り組み状況（留学派遣、受入れ、海外校との協定・単位互換制度、研究交流など）について記述してください。 | |
| | | 16-3 | 国際交流の活性化に向けた今後の方針・課題について、具体的に記述してください。 | |
| 17 | 入学定員数の管理 | 17-1 | 学科における入学定員の管理状況について、どのような現状（比率）となっていますか。 | 学科 |
| | | 17-2 | 入学定員を管理する上で、どのような努力を行っているのか、またどのような問題点があるのか記述してください。 | |
| 18 | 収容定員数の管理 | 18-1 | 学科における収容定員の管理状況について、どのような現状（比率）となっていますか。 | 学科 |
| | | 18-2 | 学年ごとの留年率を比較して検証し、それがどのような理由によるものか記述してください。 | |
| | | 18-3 | 留年者を減少させるために、今までどのような取り組みを行い、今後はどのような改善（防止策）が必要なのか記述してください（進級条件の設定、成績不良者や就職難へのサポート体制など）。 | |
| | | 18-4 | 「学科のめざす人材育成」と、「学科で習得した知識・スキル」と、「適切な進路選択」をうまく結びつけて4年間で卒業させるという点において、どのような指導を行っていますか。 | |
| | | 18-5 | 学年ごとの退学者数と理由を検証し、記述してください。 | |
| | | 18-6 | 退学者を減少させるために、今までどのような取り組みを行い、今後はどのような改善（防止策）が必要なのか記述してください。 | |
| 19 | 収容定員数の管理 | 19-1 | 専攻において、収容定員数に対する在籍学生数比率（定員充足率）の状況を記述してください。 | 専攻 |
| | | 19-2 | 19-1の現状の課題（収容定員数の設定が適切化か、学習者ニーズの把握、専攻の果たすべき役割、就職先等）と、今後の対応について記述してください。 | |
| 20 | 経済困窮者などのための支援体制 | 20-1 | 本学の奨学金制度では、必要な学生に適切に奨学金が用意されていますか。また、その内容（申請期間や採用決定時期、交付時期や手続き、金額、返還方法等）は、妥当なものとなっているか記述してください。 | 学生部 |
| | | 20-2 | 改善すべき点があれば、その具体的な方向性や課題などについて記述してください。 | |

| 執筆項目 NO | 執筆項目 | 執筆内容 NO | 執筆内容 | 対象部局 |
|--------------------------|--|---|--|------------------------------|
| 21 | キャリア教育 の充実 | 21-1 | 現在の学生に対する進路相談や就職指導の状況（初年次からのキャリア教育（キャリア科目）の実施などを含む）について記述してください。 | 学科 青スタ教育機構 進路・就職センター |
| | | 21-2 | 生涯のキャリア形成という意味において、現在の課題と今後の展開等について記述してください。 | |
| 22 | 教員組織や教員 の教育・研究活動などの 適切性 | 22-1 | 設置基準で定められた教員数が確保されているか記述してください。 | 学科 専攻（専門職のみ） |
| | | 22-2 | 学科・専攻の教育目標を達成する上で、分野や領域ごと、あるいは年齢構成や性別などを考慮した教員配置が適切に行われているか記述してください。 | |
| | | 22-3 | 質の高い教育・研究活動を行う上で、教員の時間的余裕に配慮する必要がありますが、そのような視点に立って、学部内科目配置コマ数と各教員の授業担当コマ数が適切であるのか、現状と課題、今後の改善方法などについて記述してください。 | |
| | | 22-4 | 授業時間外での学生等への相談・指導が適切に行われているか記述してください。 | |
| | | 22-5 | 各種委員会など学内の管理運営に関する諸委員の負担の現状や改善方法等について記述してください。 | |
| 23 | 専任教員1人 あたりの学生数 | 23-1 | 各学科の専任教員1人あたりの学生数の現状について、単に「教員数が少ないことにより比率が高い」といった視点ばかりでなく、在籍学生数の管理（留年生減少のための学修支援や適切な進路指導に基づく就職支援など）の状況を含めて検証し、記述してください。 | 学科 |
| 24 | 自己点検・評価 活動の実態 | 24-1 | 学科・専攻における自己点検・評価活動がどのような組織体制やスケジュール、内容で行われているのか記述してください。 | 学科 専攻 全学自己点検・評価 委員会 |
| | | 24-2 | 今までそれらの活動で明らかになった問題点は、どのようなものですか。また、その問題点を学科・専攻内でどのように共有し（例：報告書などの刊行物作成）、どのように改善、改革に役立っているか記述してください。 | |
| 25 | 職員の能力開発 （スタッフ・ディベ ロップメント ＝SD） | 25-1 | 職員の能力開発を、大学運営のなかでどのような方針や位置づけと捉えているか記述してください。 | 事務局長 |
| | | 25-2 | 具体的に、どのような学習機会や能力開発支援体制を整えているか記述してください。 | |
| | | 25-3 | それらの能力や成果を、具体的にどのような場面で活用しているか記述してください。 | |
| 26 | 学生相談センターの 人員・スペース確保への 対応 | 26-1 | 大学基準協会からの指摘事項について、学長の諮問機関として「学生相談センター構想委員会」が立ち上げられ、組織、人事、施設・設備等について検討が進められているその状況について記述してください。 | 執行部 |
| 27 | 図書館閲覧室の 座席数不足等への 対応 | 27-1 | 短期的には、どのような対応によって利用者の環境改善に努めていくのかを記述してください。 | 図書館 |
| | | 27-2 | 中期的には、2012年度からの就学キャンパス再配置による学生数増加によりさらに状況悪化が想定されるなかで、どのような対応を考えているのか記述してください。 | |
| | | 27-3 | 長期的には、青山キャンパス再開発などの計画のなかで、この問題にどう取り組んでいくのか記述してください。 | |
| 現在運営上感じている重要な問題点・改善点への対応 | | 上記執筆項目1～27以外に、現在各部局を運営していく上で感じている重要な問題点・改善点を洗い出し、①具体的な状況・背景、②現在までの対象状況、③今後の対処方法・課題について記述してください。 | | 上記以外の全部局 ※上記の部局も執筆可 |